

# 平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 5 報）

平成 17 年 5 月 27 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「一部の漁場を除いて付着稚貝数は横這い。」

## 1 ラーバの出現状況

5月26日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が 0 個/トン、200 μm 以上が 2 個/トンと、前回調査時（合計 2 個/トン）同様に非常に少ない値でした。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 9.9 と、前回調査時より 1.3 上昇し、平成 9 ~ 16 年の平均値より約 0.5 低めの値となっています。

## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月23日以降の調査において、釜石と大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。各調査点の付着数は 2 ~ 319 個/袋でした。

大船渡地区広田湾の西風浜を始め大船渡地区南部で付着数は増加してきました。一方、釜石地区から大船渡地区北部では付着数は横這い状態で、依然として少ない状況です。



図 調査点と付着稚貝調査結果

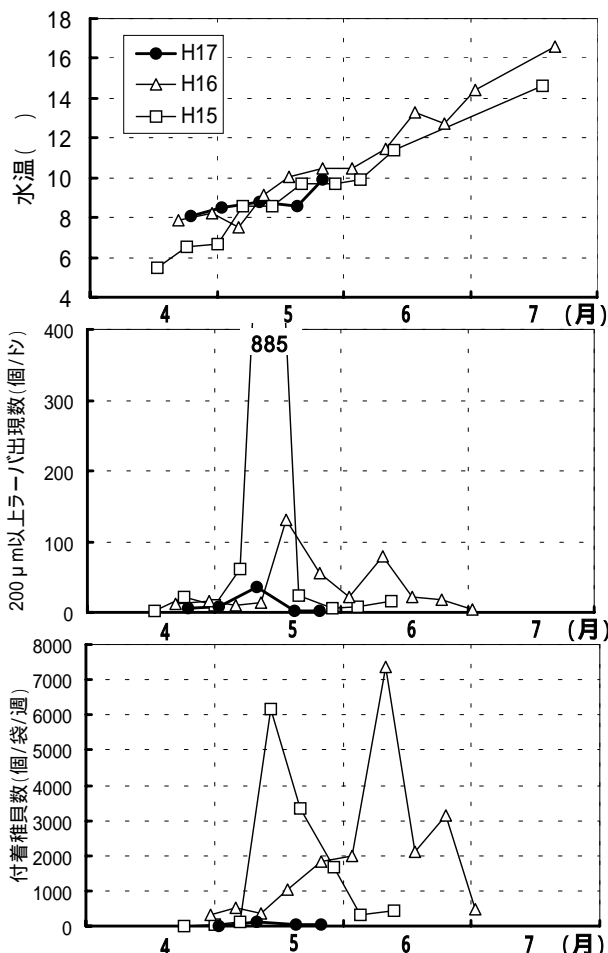


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 4 割が付着直後の個体でした。

これまでの調査結果から、広田湾奥を除く県中南部以南では、採苗器への付着数は少なくなると予想されます。

今後の調査結果に十分注意し、採苗器の追加投入も含め、例年よりも多くの採苗器を投入するようにして下さい。

次報は、6月3日頃発行する予定です。